

その他の事業のその他における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14~15	回転釜洗浄中に左足が滑って釜下の段差に落ちたことで、バランスを崩し、左胸下を回転釜に打ちつけた。	49	—
2	9~10	共同販売部、倉庫内において約1m70cmの高さでのダンボール整理作業終了後、昇降用のロープにつかまり降りようとしたがロープが張っておらず、弛んでいたため、そのまま足を滑らし、左足から地面に着地した。	65	10~29
2	10~11	出荷検品個別エリアにてカタログを集約ケースに入れてライン上に載せるカタログ補充作業を行っていた。急いでカタログを取りに行こうとし、パレットの角を跨ごうとした際、パレットに足が引っ掛かり、転倒しそうになって隣のパレットに積んであったカタログに左手をつき左手首を負傷した。	63	300~499
2	11~12	特別養護老人ホームの更衣室で清掃作業中に、床に置いてあった荷物（枕）をロッカー（高さ1.5m程度）の上に背伸びして上げようとしたところ、荷物の重さでよろめき、側面の壁にぶつかり、転倒し、壁にぶつかった際に腰を打った。大丈夫だと思って様子を見ていたが、痛みが増してきたため病院を受診したところ、骨折と診断された。	75	10~29
3	17~18	延長保育時、園舎2階での保育中、園児が一人でトイレに行こうとしたため慌てて追いかけた際に、トイレ入口に置かれているパンツ台（下着を置いておく台）に左手薬指をぶつけ受傷した。	27	30~49
3	9~10	倉庫内で小物部品の検品中、突然手足に力が入らなくなり気絶した。倒れた際にパレットの上のダンボール部に首、頭部をぶつけた。	43	10~29

4	8~9	自転車で出社し、地下駐輪場へのスロープを下る際、路面が直前の雨で濡れていたためタイヤがスリップし転倒した。	45	300 ~ 499
4	14~ 15	児童クラブの室内で、児童が座っている場所に歩いて行った時に、児童が座っている場所の近くに柱があり、足をぶつけ、左足の薬指を骨折した。	60	1~ 9
5	14~ 15	下校時、校庭に集合している学級の児童に忘れ物を届けようと、児童昇降口から走り出ようとした際、閉まっているガラス扉が開いていると勘違いし、ガラス面に激突して転倒し、腰を痛めた。	58	30 ~ 49
5	10~ 11	3階女子トイレ洗面台前でハンドクリーナーで床面清掃中に床にこぼれていたクリーム状の液体に気付かず足を滑らせた。その際、左膝に負荷が掛かり、床に打ちつけた。また、転倒を避けようと踏ん張った際に背中も痛めた。	54	100 ~ 299
5	17~ 18	体育室で、小学生対象の体操教室の動作見本にて、エバーマットに体当たりをする場面で、エバーマットを押したときに左膝に違和感を感じ、又、倒した時に左膝を床に打った。	22	10 ~ 29
5	20~ 21	弊社請負現場であるイベントの現場にて、従業員がパイプ椅子（高さ70cm、幅50cm）を1人でカゴ付きの台車に積み込みをする際に他のスタッフが上からパイプ椅子を積み込んだ為、左手小指を強打した。	35	50 ~ 99
5	16~ 17	事務所1Fにて資材棚作成の為、地面に単管を打ち込もうとした時に、誤って単管とハンマーの間に指を置いたまま、ハンマーで指を叩いてしまい左手人差し指を裂傷した。	20	10 ~ 29
5	12~ 13	営業活動のため歩行中、移動時間を有効利用しようと住宅地図に書き込みをしながら相当なスピードで歩いていた時に、前方不注意により歩道のガードレールに右太腿を強打してしまった。	40	10 ~ 29
6	22~ 23	倉庫内で、PPバンドで結束した枇杷の入った箱を店舗送り用に分ける作業をしている時に、PPバンドをカッターで切って抜き取る際に、引っ掛かって跳ね上がり、右眼に当たって負傷した。	40	50 ~ 99
		建物内階段を2階から1階へ移動中、踊り場手前3~4段目で足を踏み外し、踊り場		50

6	8~9	の壁に右肩を打ち転倒した。	65	~ 99
6	9~ 10	事務所の移転のため、引越作業をしていたところ、荷物を運んだ際に扉に足をぶつけて、左足の指を骨折した。	47	1~ 9
6	2~3	現場に到着し、車両の左側から降車して着地した際、路肩の盛り上がりで左足首を強く捻じり、左距骨骨折および左足関節靭帯を損傷した。	34	1~ 9
6	11~ 12	住宅の新築現場で、当社所有のレンタルトイレを引き上げ（2.9t吊クレーンで吊り上げ）次の現場（同路内）に向かう予定だった。トイレは水抜き済で、荷重約100kg積み込み専用吊具で、当該運転手1名で行った。この後、数台積込の予定があったため、荷台の運転手側鳥居にくっ付けて積荷を固縛した。その際、クレーンの角度は水平方向に対し約70°、地上高は約5.5mであった。この状態でアウトリガーのみ格納し、運行を開始してしまった。直後に30m位走行したところ、高さ約4.5mの通信線の架線にクレーンジブが引っ掛かり、それによって前輪も浮き上がり、バランスを崩して左前輪より路面に叩きつけられ、助手席側（左側面）を下に横転した。運転手は、シートベルトで一時車内に閉じこめられたが、救出され病院に搬送された。腰部を強打しており、翌日の検査で第4腰椎横突起と診断された。	48	10 ~ 29
6	14~ 15	遊技機器の組付ラインの設置準備作業のため、工場内で作業台に上がり（高さ約1m）、電動ドライバーなどの工具を片付けていた。片付け作業が終わり、作業台から降りようとした時、急に作業台の脚が不安定になり、慌てて作業台から飛び降りた際に、地面に右足を強打した。（靴を脱いだ状態で台に上がっていた。）	57	—
6	16~ 17	子供達とサッカーをしている時、ゴールの前に立ち（ゴールキーパーをしていたため）ボールを受けようとしたところバランスを崩し、左手から地面に着地し、左手薬指を骨折した。	21	1~ 9
6	20~ 21	フィールドでのセッティングの作業が終わり移動中、トラックでウォーミングアップ中の選手と接触した。	45	10 ~ 29
				30

7	15~16	倉庫内で米のフレコンロープをフォークリフト爪に通す際、爪を右胸部にぶつけた。	48	~ 49
7	11~12	病院病棟において、病棟清掃作業中、病室内清掃後、廊下にモップをかけようと両手にモップを持って歩いていたところ、廊下に掃除機が出ていることは視認していたがコードには気付かず、コードに足をひっかけ転倒した際、床面に左頬、左上肢を打ち負傷した。	73	1~ 9
7	15~16	当社の出勤日に社内行事の目的としたソフトバレーボール大会を体育館にて開催した。試合中、相手チームからの低いボールを受け取ろうとして、横にジャンプし、着地時に失敗し、左足首を負傷した。	42	~ 299
7	18~19	工業に接岸の内航船にてコイルの揚荷作業が終了したか確認後、内航船から岸壁に降りた際、右足ふくらはぎを負傷した。	54	50 ~ 99
7	17~18	配膳後にエレベーターの中で床の上にお皿をじか置きしていたので、そのお皿を取ろうとした時にバランスを崩しエレベーターの壁にもたれかけるように転倒し、手すりでお腹を強打した。	63	1~ 9
7	10~11	倉庫内での袋物の荷役作業中、8tフォークリフトでのはい作業を終了させて、停止させたフォークリフトの運転席から降りて次の作業に移る際に、少し気持ちが急いだため、足が滑って着地してしまい、左足首に衝撃が走り痛みで力が入らず、後の作業ができない状態になった。	26	10 ~ 29
7	15~16	自動車共済の継続車体確認のため、管内の顧客宅へ訪問し、車体がある倉庫横を歩いていたところ、蜘蛛の巣があり、はらおうとした際に鉄の杭に左手を強打し、骨折した。	50	1~ 9
7	20~ 21	従業員送迎業務で駅から工場へ送迎後、近くのコンビニでトイレを借り、戻るときに歩道縁石の段差で足をくじき、右足を負傷した。	55	10 ~ 29
7	12~	公園で前日に刈った草の片付け中に、地面のくぼみに左足をとられ、左足首を捻挫	65	100 ~

	13	した。		299
7	15～ 16	鍵交換作業をしており、交換する鍵を社用車に取りに行こうとしたとき、エレベーター前にあったコンクリートの段差に気付かず、左足を強くぶつけた。	34	1～ 9
7	11～ 12	飲料自動販売機設置先において、手持ちで商品運び、2階にある自動販売機の補充作業を行おうとしていた。階段を上ったところに段差があるが、今まではスノコが敷かれていたため段差がない状態であった。しかし、発生日には改装が行なわれたためか、スノコが取り除かれていた。商品を手持ちで運んでいたため足元を確認しづらい状況であり、かつ今まで通り段差がないものとの認識があったため、段差に気付かず、右足を踏み外したことにより負傷した。受診の結果、右足関節捻挫、右距骨・立方骨骨挫傷の疑い、右足根骨剥離骨折の疑いと診断され、約3週間の休業を要する見込みとなった。	32	50 ～ 99
7	18～ 19	営業所の材料置場において、棚上段の材料を脚立を使って取り、自身が降りる際に足を踏み外して転倒し、左足首を捻挫した。	36	10 ～ 29
7	16～ 17	当社営業所にて鉄加工作業中、グラインダーで鉄を切断する際、刃先が鉄に接触したときの勢いで刃物が潰れ、グラインダー本体に誤って左手小指下を強打し負傷した。	61	1～ 9
7	14～ 15	トイレ休憩をしようとクレーンから降りる際、高さ30cm下の地面にバランスを崩して着地し、左足首剥離骨折した。	26	10 ～ 29
9	11～ 12	店にて販売就業中、店内準備室を段ボールを持って歩いていたところ、掃除用の水ため場に左膝が落ちてしまい強打する。通常、当該の水ため場はふたが閉まっているが、事故当時は開放されていた。	32	100 ～ 299
9	19～ 20	勤務先である市役所技術員の休憩室で12cmの小上がりフローリングのテーブル上のメモを取って自席に戻ろうとした際、左足後ろの上履きのサンダルが段差に半分位しか残っていなく足を踏み外した形になった。咄嗟に椅子に手を伸ばしたがキャスター付きの椅子の為、回転してしまいその拍子に体勢を崩してしまい、椅子	67	1～ 9

		に左胸を強打したものである。病院に行き、肋骨が2本折れているとのことだった。		
9	8～9	当社所有の倉庫において、トラックの荷台から資材をおろしたあと荷台から飛び降り、バランスを崩して左腕をアスファルトに強打した。	18	10 ～ 29
9	9～10	担当者に書類を渡すため歩いているときに、広い水たまりがあったため飛び越えたところ、右膝が痛くなり歩行が困難になった。	63	1～ 9
9	10～11	ライスセンターにおいて、米袋を搬送する為に荷崩れ防止器具を外そうと米袋7段積パレット（高さ約1.5m）の上へのぼり器具を外した後、降りようとして飛び降り、着地時の衝撃により右足首を負傷したものである。	69	1～ 9
10	19～20	退勤の際、夜暗く足元が見えなかったため、裏側の出入口の3段ある階段を踏み外し、右足首を捻挫した。	26	300 ～ 499
10	18～19	店舗厨房内で、鶏肉のカット作業中に、手を滑らせ左手人差し指を切り、受傷した。	27	10 ～ 29
10	11～12	お客様先で段差につまずき、その勢いで自動ドアに頭部と左手をぶつけ左手小指を骨折した。	63	50 ～ 99
11	13～14	駐車場内にて、トラック（約1.5t車）の荷台より積荷を降ろし終えた後、トラックの荷台（高さ約1.5m）より降りる際、飛び降りる形になってしまい地面に両足で着地したが、左足に想像以上の衝撃があり左足かかとを負傷したものである。	66	50 ～ 99
11	11～12	被災者は当社実業団ハンドボール部に所属しており、当社事業所体育館にて練習中、ミニゲームを行っている際に、こぼれたボールを他選手と競い合い左肘を打撲、出血した。その後試合や練習に参加したが、後日、夜に傷口が腫れ痛みを伴い、翌日クリニックを受診した。その日の夜には発熱もあり、翌日入院となった。左肘の傷がもとで、皮膚感染症に感染した。	31	100 ～ 299

11	15~ 16	土場として使用している市有地で重機を使用して、切枝腐葉土の移動を二人で交替で行っていた。自分がこの作業を行っていない時間を利用して、道路近くまで垂れ下がった枝等の処理をしようと三点式8段脚立を側溝を跨ぐ形で安定性を確認の上立て掛けた。脚立の6、7段目に足を掛けて、手持ちノコギリで処理しようと枝をつかんだところ枝が折れ身体のバランスが保てなくなり、側溝の中に飛び下りた。側溝の中に多量の枯れ葉があり、被害を最小限にするため側溝に飛び下りた。	65	50 ~ 99
11	16~ 17	要冷の2段階仕分けをしようと畳んである小カーゴ車を広げながら、ふと他の事をしようと思い振り返ったところに、カーゴ車の底面の鉄板が恥骨に当たり骨折した。	54	100 ~ 299
12	0~1	自動販売機の設置作業時、自動販売機の上部から飛び降りた際に着地に失敗し、左足踵部分を骨折した。	44	30 ~ 49
12	10~11	施設内で、管理室のドアを椅子で固定し、隣接している倉庫のドアを立て札で固定して開けたままの状態にして掃除をしていたとき、電話が鳴り、お客様の要望で外を確認するため、お待たせした状態で小走りに管理室から出たところ、倉庫のドアを固定していた立て札の足元の大きく出ている部分（金属）で左足親指を強打した。なお、被災当時はスリッパを履いていた。	43	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html